４．自前の保管施設を増強、外部倉庫費用が減ってコストダウンだ！
．．．というご決断の前にご再考を

- 外部倉庫代と移動費用は減の一方、減価償却費、倉庫運営経費は増えます。前者は変動費ですが、後者の多くは固定費です。固定費増でOK？
- 自前資金でコストダウンなら問題ないはず．．．市場、外部環境が激変する時代、内部留保資金（流動資産）を費消、固定資産を増してOK？
- 金融機関などからの借り入れで倉庫を建設すれば、貸借対照表上の「総資産」が増え、ROA（総資産利益率）は低下する場合があります。
- 在庫の数量推移はピークが高く、幅の狭い山形になりがち。在庫の全量を社内で保管しようとすれば、保管施設が満杯になるのは短期間。保管設備の平均稼働率は低くなりませんか？

＊倉庫事業者は多様な業種の在庫を集め、ピーク時期の異なる荷を組み合わせて保管、年間を通じて高い設備稼働率を目指します。現場のコストダウンと並行し、他のモノサシも併用して、自家用倉庫建設の可否を検討されてはいかがでしょうか。